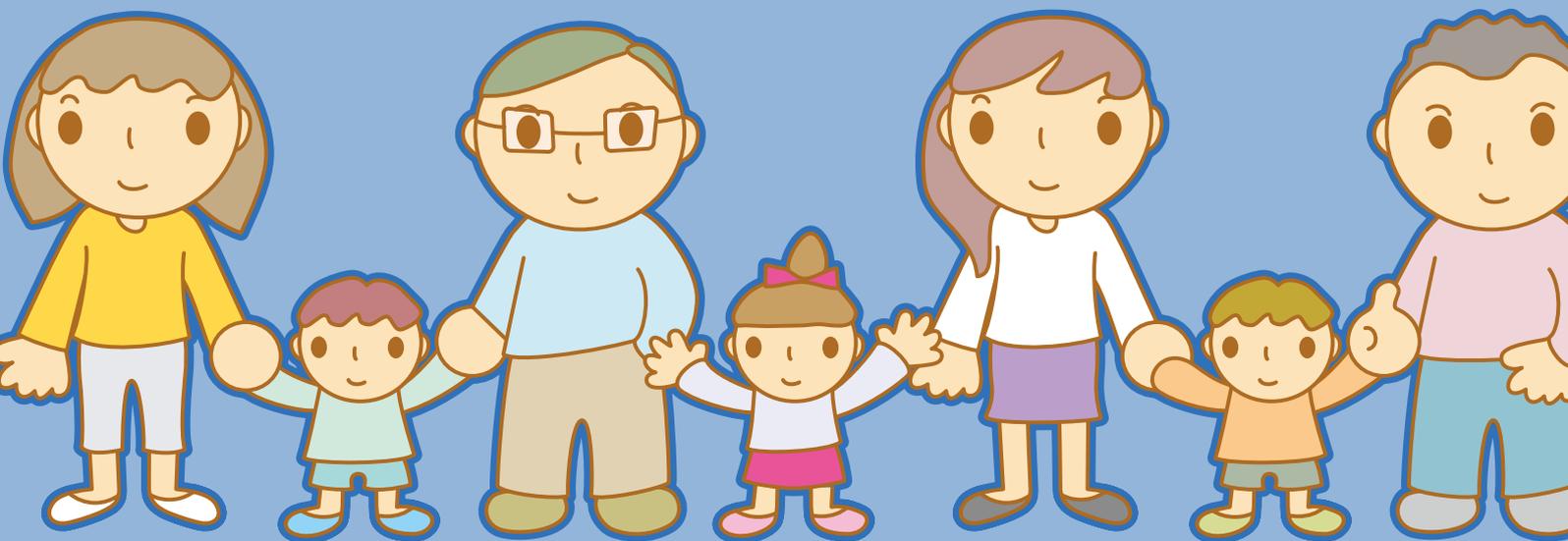


第2期 川崎市保育基本計画 (かわさき保育プラン)

～子どもの笑顔があふれ、未来の力を育むまち・かわさき～



はじめに



わが国では、急速な少子高齢化が進み、今後、長期の人口減少過程に入ることが予想されています。

また、核家族化や都市化の進展に伴い、家庭や地域のつながりが希薄化し、児童虐待や社会的な孤立、経済的格差による子どもの貧困など新たな社会的問題も起きています。

本市では、平成14年2月に「川崎市保育基本計画」を策定し、これまでも保育受入枠の拡大や多様な保育サービスの拡充を図り、仕事と子育ての両立支援に取り組んできました。

また、子育てを取り巻く環境が変化する中、本市では、平成19年以降に、就学前児童数の増加に伴う保育ニーズの高まりに対応し、毎年1,000人を超える大幅な保育受入枠の拡大を中心とした積極的な取組を進めてまいりました。

この「第2期川崎市保育基本計画」（かわさき保育プラン）は、こうした本市の社会状況の変化や子育てを取り巻く環境の変化に適切に対応していくため、「川崎再生フロンティアプラン」の「第3期実行計画」や「新たな行財政改革プラン」との整合性を図り、今後5年間の保育施策の方向性を定める計画として策定いたしました。

この計画の基本目標には、『かわさき子ども「夢と未来」プラン』の基本理念である「小さな命に大きな未来、育ち育てるまち・かわさき」を掲げており、この目標の下、“子どもの笑顔があふれ、未来の力を育むまち・かわさき”を目指して、すべての子どもの健やかな育ちが等しく保障され、家庭の役割が尊重される取組を多様な主体との協働により推進してまいります。

本計画の策定にあたりまして、市民や関係者の皆様から貴重な御意見等をいただきました。心から感謝申し上げますとともに、今後とも本計画の推進に対しまして、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月

川崎市長 阿部 孝夫

目 次

I 総 論

第1章 計画の策定にあたって

1 計画を策定する背景.....	1
2 これまでの本市の取組と新たな計画の策定.....	3
3 計画の位置づけと計画期間.....	5

第2章 子育てを取り巻く状況

1 本市の社会状況.....	6
2 家庭の状況.....	12
3 就学前児童の状況.....	16

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本的な視点.....	22
2 基本目標.....	23
3 基本方向.....	24

第4章 事業推進の考え方

1 “かわさき”の子育て支援の充実.....	26
2 社会全体で子育てを支える仕組みづくり.....	36
3 新たな制度への対応と大都市等との広域連携.....	40

II 各 論

第5章 事業推進計画

1 認可保育所の整備.....	44
2 認可外保育事業の充実と再構築.....	54
3 「認可保育所の運営のあり方」を踏まえた公立保育所の再構築.....	56
4 子育て家庭への支援の充実.....	58
5 利用者へのサービス向上に向けた取組.....	60
6 保育サービスの質の向上に向けた取組.....	62
7 保育サービスの利用における受益と負担の適正化.....	64
8 地域で子育てを支える仕組みづくりの充実.....	66
9 企業等(雇用主)における子育て支援の充実.....	68
10 多様な主体との協働に向けた取組の充実.....	70
11 国の新たな制度や地域主権改革への対応.....	72
12 国、県、企業等との連携による事業の推進.....	74
13 広域的な連携の推進.....	75

第6章 計画の推進に向けて

1 計画の推進にあたって	76
2 計画の推進体制	77

III 資料編

1 認可保育所の設置状況	78
2 認可外保育施設等の状況	80
3 保育所等における多様な保育サービスの状況.....	82
4 認可保育所と認可外保育施設の利用のしくみ.....	83
5 認可保育所の保育料について	84
6 各区における子どもに関する主な事業について	85
7 児童福祉審議会第2部会からの提言について.....	89
8 パブリックコメント手続きの実施結果(概要)	94